

# 入舟 コミ協だより

第25号

発行：'20.3.20

発行所：入舟地区

コミュニティ協議会

責任者： 田村 幸夫

TEL 223-3532



## 「第13回ふれあいウォーキング」

福祉文教部会 古寺 昭治

”ふれあいウォーキング”は中央区社会福祉協議会の支援及び助成を頂きつつ、ウォーキングを通じて、入舟地区住民の親睦と世代間交流を深めて頂きながら併せて健康維持など福祉面でもお役に立てばとの思いを込めた企画です。

平成19年6月の初回から本年まで13回を数えています。その参加者は毎回園児から傘寿を向かえる長寿者までの4世代が参加し、人数は初期の頃の123名から最大193名、平均で150名強の参加をいただいています。

これまでのウォーキングの主たるコースは①西海岸公園(旧舟栄中裏手)⇒ドン山の折り返し、②みなと

ピア⇒陸上競技場の折り返し、③みなとピア⇒八千代橋⇒信濃川右岸⇒柳都大橋⇒左岸⇒みなとピアでした。以上の12回は全て天候に恵まれ爽やかな日差しでのウォーキングでした。

本年の第13回は令和元年10月6日に実施しました(参加数153名;内大人131名子供22名)。

今回は多数の要望により みなとピア⇒八千代橋折り返しの短いコースに変更しました。

スタートから雲行きの怪しい秋空でしたが、暫くして小雨となり、間もなく、雨足は強まり、激しい風雨となりました。続行は不可能で、柳都大橋付近で暫時雨宿りとなり、天候の回復を待ちましたが、先の見通しが付かず途中で中止に至った次第です。初めての経験でした。

これに懲りず次回のふれあいウォーキング(第14回令和2年10月4日)予定への多数の方々の参加をお待ちしています。



## 「地域の安全は地域で守る」

入舟地区防犯協会 副会長 阿部幹雄

入舟地区防犯協会は、防犯・交通安全を願い、この地域に事件、事故が起こらないようにと、32自治・町内会で「合同パトロール」や「街頭指導」を実施しています。

過去には交通死亡事故が2件発生しています。悲惨な事故に合わない為にも、歩行者も十分気を付けなければなりません。

入舟地区防犯協会は、事故が起こらないよう危険箇所を点検し交通標識(止まれ)・道路標示(横断歩道)の視認性不良を探し、中央警察署へ改善を要望します。令和元年度は、新規に横断歩道を完成(1箇所)と、交換した交通標識は(11箇所)です。

合同パトロールで各員から指摘頂いた危険箇所を、令和2年度の要望書として提出し、2月28日に開催された中央警察署協議会で、実現するよう要望しました。

お願い!!各自治・町内会で危険箇所や標識等の視認性不良箇所があれば、ご連絡お願いします。  
連絡先 阿部幹雄(025-223-5851)

1, 完成箇所を一部写真で紹介します。

横断歩道の設置 (水戸地区)



交通標識の取替え (入船町、西湊町通3・4)



2. 要望箇所を一部写真で紹介します。

手押し式信号機新設 (新潟造船前)



他、視認性不良箇所の改善。

交通標識: 9箇所(東入船町・附船1)  
道路標示: 34箇所

## 「6年生の総合学習「共に生きる～下町をPRしよう～」

日和山小学校・地域教育コーディネーター  
小島良子

日和山小では、全ての学年で地域について学んでいます。6年生は地域の魅力を再発見し、



お店や施設、公園を紹介するマップを作り、合わせて各施設の絵を描き『下町の風景画展』として商店街や みなとぴあ に展示しました。

また、商店街の空き店舗を利用し『ミニコンサート』を開催するなど、地域の方々たくさん交流をさせていただき、子どもたちは良い経験ができました。



## 「防災・減災は訓練の繰り返し」

自主防災会会長 玉木 幸一

地区防災訓練を令和元年9月22(日)に柳都中学校体育館で実施しました。地区内32町内会から約500名が参加しました。下の写真は各町内会単位で集合した状態です。

町内会単位が必要な理由としては災害時での  
1.人員の把握、2.食料調達の根拠、3.安否生存確認等の資料となり、避難所運用の基本データとなるものです。また、本年訓練では実消火器を使用して放射訓練を経験しているところです。通常は水消火器ですが廃棄予定の消火器を利用したものです。消火器から出る粉を



ビニール袋(大型、厚手)で飛散させない様対応しました。なお、粉は多少吸い込んででも害になりません。

実消火器の放射訓練が実施でき参考になったものとおもいます。各家庭に設置されている消火器は、使用されないのが望ましく、火災を発生させないことが一番です。



## 「皆様に支えられて」

新潟柳都中学校教頭 島 和宏

「令和」を迎えた今年度も、生徒の活躍を中心として、新潟柳都中学校は活気に満ちていました。

まず、当校の特色ある学校づくりの取組が認められ、第34回時事通信社「教育奨励賞」推薦校となりました。地域とのつながりを通して生徒の自己有用感を高める具体的実践内容が、教育専門誌『内外教育』の記事で取り上げられ、広く県内外に紹介されました。反響もとても大きかったです。

また夏には、男女のバスケットボール部が揃って県大会・北信越大会を制覇し、全国大会出場を果たしました。強豪校を相手に



男子はベスト16、女子はベスト8 の成績を残し、新潟柳都の歴史に新たな1ページを加えました。

そして9月の「早川堀プロジェクト」には、今年度もたくさんの保護者・地域の皆様にお集まりいただき、生徒の活動を支援していただきました。

このような素晴らしい一年を送れたのも、地域の皆様の温かいご支援・ご声援のお陰と感謝しております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。





## コミ協の活動状況

総務部会 高山ゆり子

- ①9.15(日) 第44回お互いさまランチ/敬老会  
(参加121名)
- ② 9.21(土) 安全パトロール(参加56名)
- ③9.22(日)防災避難訓練 (参加551名)
- ④9.30(月)第24号コミ協だより発刊
- ⑤10.6(日)第13回ふれあいウォーキング(参加150名)
- ⑥10.9(水)避難所現地検討会
- ⑦11.6(水)津波自主避難マップ会議(参加29名)

- ⑧11.17(日) 第45回お互いさまランチ(参加75名)
- ⑨12.10(火)津波自主避難マップ会議(参加23名)
- ⑩12.21(土)防犯パトロール (参加42名)
- ⑪1.19(日)第46回お互いさまランチ(参加74名)
- ⑫1.21(火)跡地検討会(参加19名)
- ⑬1.24(金)コミ協新年会(参加52名)
- ⑭2.8(土)第1回防災女子会(参加51名)
- ⑮2.16(日)日赤、一般救命講習回(参加 36名)
- ⑯2.22(土)跡地検討会(参加18名)
- ⑰3.9(月)自主防災会研修会(中止)

## 消防署附船出張所/柳都交番 新築開所

コミ協会長 田村幸夫

旧日和山小学校跡地に建設中の消防署附船出張所・消防団入舟分団器具置場及び柳都交番が3月に開所した。

- (1)消防署は2階建て。1階には車庫・ピロティ。2階には事務室・食堂・仮眠室(5室)であって、



隣接地に40㎡の地下式防火水槽を付する。隣に入舟分団器具置場が移設した。

(3月23日業務開始予定)

- (2)交番;2階建て。2階に仮眠室(2室)、駐車場を隣接に付属する。(3月6日開所予定)



## 編集後記

日和山小跡地に入船出張所、舟江図書館、コミ協事務室を含む北部総合コミセンが移転して約10ヶ月が経過した。その後プールを撤去して駐車場となり、敷地の一部に消防署と交番が新設された。3月中に開業する予定である。これをもって、小学校跡地の活用計画はほぼ終了することになる。地域活動の便利さが大きく向上した。

旧コミセン跡地の活用が次の課題である。下町の人口減少を背景に、高齢化する地域民の安心な生活維持のために少しでも将来に役立つ方策はないか?の模索は続く。

編集委員; 鈴木喬、高橋誠一、田村幸夫、高山ゆり子  
古寺昭治、小島良子、阿部幹雄、風間幸一、宮尾益史